

ふくいんその

# 福音の園®だより



特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局  
〒350-0016 埼玉県川越市木野目 1878 番地 1  
Tel. 049-230-1111 Fax. 049-230-1112

ごあいさつ  
介護保険、26年目を迎えて

パーソンセンタードケア  
の実現目指して

特定非営利活動法人  
福音の園・埼玉  
理事長 杉澤 卓巳



西暦2000年に始まった「介護保険制度」。介護サービス利用が長年の「行政主導」から「利用者（家族）優先」へと改革されて26年目を迎えました。「パーソンセンタードケア＝その人中心のケア実践」が定着してきました。当施設も、「私にとって都合の良い（支援しやすい、手がかからずお世話しやすい）隣り人とは誰ですか？」の問い合わせに、「（気の毒な）その人の隣り人になったのは誰か？ あなたも行って同じようにしなさい」と謳う「聖書の言葉」を運営の基本にしながら、苦心しつつ精進に努めている事業所です。

…滞在期間が既に数十年以上になる外国人もあり、いずれ最期の時を迎えた際、本人が望む弔いが可能になる環境整備は欠かせません。これまで外国人労働者を受け入れ、今後更に積極的に呼び込みを図るべく取り組んでいる国、県、市町村、各企業等々、全ての関係者に問われている課題であり責任だと考えております。

これは、2025年6月25日、宮城県議会「一般質問」：藤倉知格県議会議員が最後に結ばれた会議録。一各企業等々、全ての関係者に問われている課題であり責任ですと投げ掛けられたお

埼玉県認定：シニア活躍推進宣言企業  
平成18年度「高年齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞  
平成27年度「介護職員確保・定着の為の優れた取組」表彰

言葉を重く受け留めている事業者です。

川越市より指定認可いただき、「地域密着型介護保険事業所2施設」を運営しております。正社員・パート・アルバイト含めた総従業者の内、男性3名・女性3名の計6名が在留外国人です。昨年3月、男性外国人2名が「国家資格：介護福祉士」試験に合格しました（他に4名合格）。国家資格取得により「永住権」取得への道が開かれました。両名共、妻帯者。彼らの伴侶も当事業所でパート就労中です。末長く働いてくれることを期待し、環境整備に苦心しています。

ムスリム（イスラム教徒）の女性外国人を雇用しています。「お仕事の時はヒジャブ（注・信仰と慎み、敬虔さから髪や首を覆うために着用するスカーフ状の布）はしません」と応えてくれたのが採用動機でした。大型施設なら「調理と身体介護は完全分業」でも、小規模施設は「調理中でも、手が足りずトイレ介助に入る」場面あり。分業した「介護サービス提供」が叶わない中、掃除から排せつ・入浴・調理・食事介助まで「生活全般」をお世話させていただくとき、「効率」優先とせず、おひとり一人のペース（呼吸）に合わせるように、どこまでも「その人中心のお世話に徹したケアを実践したい」と取り組んでいる当法人の運営に共感して、自らのアイデンティティー（自己認識）である「ヒジャブ着用」を固守（優先）せず、「お世話する、ご利用者おひとり一人」のためのケア実践を最優先してくれたのでした。ムスリムである、彼女の信仰心と慎みに敬意を表します。

## グループホーム福音の園・川越

川越市木野目きのめ 1878番地 1

Tel. 049-230-1111



### 志を受け継いで

ホーム長 佐川 裕明



本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

当ホームは創業22年目に入りました。創業時に掲げられた運営基本理念「確かな支援技術に基づいた心に触れるやさしい支援の実践」「福音（聖書）に基づいた希望への支援の実践」の先に、新理念「笑顔が生まれる、安心・楽しさ」が実現されるものと確信し、職員一同、日々励んでいます。

「福音」とは元はキリスト教用語で「良き知らせ」のことです。「良いこと・嬉しいこと・楽しいことがあった！」…というのが「福音」です。当園でお過ごしされる方々には日々「福音」に満たされてお過ごしいただきたいと願っています。

近隣の皆様には気軽にお立ち寄りいただけるホームでありたいと考えています。「グループホームってどんな所？」と関心をお持ちの方、ご連絡いただけすると幸いです。

### ◆22回目のクリスマス会

創業以来、続いているクリスマス会です。「ピアノの会」に続き「クリスマスランチ」を楽しみました。ランチは職員が一致団結し心を込めておつ

くりしました。

以前はゲストを招き、利用者ご家族と共にクリスマスを楽しんでいました。またご家族をお招きできる機会を持ちたいと願っています。



←思わず「美味しい！」とピース

↓職員の力作。見た目も楽しいクリスマスランチ



### ◆生き甲斐活動「ワンちゃんと遊ぼう！」が復活

2025年の5月からお休みになっていましたが元気に復活！ 利用者さん、職員も、久しぶりにワンちゃんたち、「小江戸いぬねこ俱楽部」のメンバーの皆さんにお会いできました。

ワンちゃんと触れ合うと笑顔がこぼれます。



ワンちゃんとメンバーが勢揃い



ワンちゃんととの触れ合いは癒しのひと時



「園芸療法の日」で利用者たちが作った「れいわ8ねん一笑う門には福来る 午年」の飾り。ある利用者が毎日折っている「折り鶴」を使いました。



## グループホーム福音の園・川越第二

川越市萱沼かいぬま 2692 番地 1

Tel. 049-293-7528



### 新年のご挨拶

ホーム長 山本 裕隆



新年明けましておめでとうございます。

当ホームでは施設理念として「笑顔が生まれる、安心・楽しさ」を掲げています。本年も利用者様ひとりひとりの笑顔を大切にし、安心して生活していただけたよう、より良い支援を目指してまいりたいと思います。よろしくお願ひします。

### ◆生き甲斐活動「ワンちゃんと遊ぼう！」

第二事業所でも、開設して初めて「ワンちゃんと遊ぼう！」を開催出来ました。ワンちゃん好きの利用者様もたくさんいらっしゃるので、開催出来ることになり、感謝の気持ちでいっぱいです。利用者様も、ワンちゃんと触れ合うことで、笑顔もたくさんみられました。



かわいいワンちゃんに笑顔

### ◆クリスマス会（12月16日）

毎年恒例のクリスマス会を行いました。午前中は生き甲斐活動の「ピアノの会」を開催し、職員手作りのたくさんの料理を召し上がっていただきました。おかわりをされる方多くいて、皆様美

味しく召し上がっていただけたようです。

午後は、職員の出し物を披露しました。

①ハンドベル、②手品、③髪ダンス、④紙芝居、⑤マツケンサンバの内容でした。利用者様の笑顔も多く見られ、楽しんでいただけたようで、職員一同嬉しく思っています。



ゴージャスなクリスマス料理



手品の様子。皆さん、真剣な表情



本物ソックリ？のマツケン登場に大歓声！

### ◆新年うどん作り（1月17日）

うどん作りは去年も行い、利用者様から好評だったので今年も開催しました。うどんを作る過程（踏む作業）は利用者様にも手伝っていただきました。うどん以外にも天ぷら（鶏・ナス・さつまいも・かきあげ…）を作って召し上がっていただきました。



「美味しいなれ」と信じながらうどんを踏みます

## スタッフ・ボランティア・見学 募集中！

### グループホーム福音の園・川越

川越市木野目きのめ 1878 番地 1

Tel. 049-230-1111

◆入居者さんは現在満室です（待機者3名）。

### グループホーム福音の園・川越第二

川越市萱沼かいぬま 2692 番地 1

Tel. 049-293-7528

◆入居者さんは現在満室です（待機者2名）。

◆いずれも満室ですが、見学・相談はできます。

「グループホームってどんな所？」と関心ある方、お気軽にご連絡ください。

◆介護士（パートさん・介護助手など）ご希望の方の見学・相談も随時受け付けています。

◆ボランティア（レクリエーション・話し相手・お茶出し…など）も大歓迎いたします。



### 地域密着型サービス外部評価の結果

地域密着型サービスのうちグループホームは年に一度以上サービスの評価を実施し、その結果を公表することが義務付けられています。2025年は以下の通り実施しました。評価はWAM NET（独立行政法人福祉医療機構が運営する福祉・保健・医療の総合情報サイト）で公表しています。

### グループホーム福音の園・川越

実施機関 有限会社プログレ総合研究所

評価確定日 2025年11月4日

### グループホーム福音の園・川越第二

実施機関 有限会社プログレ総合研究所

評価確定日 2025年10月18日

## 星野富弘詩画作品展 開催中！

詩画作家・星野富弘氏（群馬県名誉県民、2024年4月逝去）の作品を福音の園・川越（木野目）、福音の園・川越第二「寄ってケア室」（萱沼）に展示しています。



「寄ってケア室」での展示の様子

この度、富弘美術館の館長・聖生 清重様よりメッセージをいただきました。

グループホーム福音の園・川越、川越第二  
利用者・職員の皆様  
ご家族、関係者、近隣の皆様

「富弘美術館を囲む会」埼玉県支部によりホーム内で「星野富弘詩画作品展」が開催されていることを嬉しく存じます。

星野富弘氏は一昨年、天国に召されました。が、たくさんの素晴らしい作品を遺してくれました。

川越市は、1984年に丸広百貨店で「星野富弘花の詩画展」が開催され、星野氏自身もご夫人の昌子さんと一緒に訪問し、滞在を楽しんだ地です。川越市の皆様にも、星野氏の作品に触れ、「生きることのすばらしさ」「生きる勇気」を感じていただけると幸いです。

群馬県みどり市立富弘美術館館長  
聖生 清重